

8月10日：利益確定圧力が高まり午後に上げ幅を縮小

ベトナム株は月曜日にVN指数が850ポイントに近づくと、利益確定圧力が次第に高まった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.21%高の843.20ポイントで取引を終えた。

出来高は3億930万株で売買代金にして4.9兆ドンであった。

7月24日、27日に大きく下落をして785ポイントの値を付けてから反発をした。政府が新型コロナの感染拡大を抑制できるのではという期待感からであった。とベトキャピタル証券のアナリストは語った。

7月27日以降でVN指数は7.17%上昇をしている。

247銘柄の上昇に対して117銘柄は下落した。

午前中はさらにポジティブな動きをしており0.65%ほど上昇していた。大型株のバオベトホールディングス(BVH)、FPTコーポレーション(FPT)、ペトロベトナムパワー(POW)、ペトロベトナムガス(GAS)、マッサングループ(MSN)、ホアファットグループ(HPG)、ビンググループ(VIC)、モバイルワールドインベストメント(MWG)などはすべて上昇をしていた。

アジアコマーシャル銀行(ACB)、ベティンバンク(CTG)、軍隊商業銀行(MBB)、VPバンク(VPB)、BIDV銀行(BID)、テクコムバンク(TCB)などが上昇し相場を牽引した。

工業団地セクターも大きく相場を押し上げた。ソナデジロンタイム(SZL)、ソナデジチャウドック(SZC)、第二工業都市開発(D2D)、ベカメックス(BCM)、金バックシティ(KBC)、ロンハウ(LHG)などが大きく上昇した。

午後に入ってからVN指数が850ポイントに近づくと利益確定圧力が高まった。

FPT、MSN、HPG、MWG、PNJ、VREなどの大型株が上げ幅を縮小した。

また、いくつかの大型株は下げに転じた。リー冷蔵電気工業(REE)、ベトコムバンク(VCB)、ビナミルク(VNM)、コテコンズ建設(CTD)は下落した。

銀行、小売り、証券、不動産、建設といった銘柄を中心として利益確定が入り取引を終了にかけて上げ幅を縮めた。

大型株で構成される VN30 指数は 0.27% 高の 784.30 ポイントで取引を終えた。

20 銘柄が上昇し 7 銘柄は下落した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.77% 上昇し 113.64 ポイントで取引を終えた。

出来高は 5580 万株、売買代金にして 5950 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。